

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公園の維持管理		款	5	項	4	目	1	事業	1	整理番号	437	
担当部課名		都市整備部みどり公園課		係名	公園整備係		連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	433			
上位施策No・施策名		13 公園づくり		予算事業区分								既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 都市公園法 (2) 杉並区公園条例								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○区民が安全で快適に利用できる公園にします。		活動指標名(式)		(1) 区立公園管理面積 (2) 区民要望件数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の公園維持管理		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 区民意向調査の回答で公園・広場が「良い」「まあ良い」の割合 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	①	m ²	533,540	561,857	557,784	601,849	600,937	606,780	99.8				
	活動指標(2)	②	件	1,243	0	1,289	0	1,306	0					
	成果指標(1)	③	%	72.4	75.0	72.0	75.0	75.2	75.0	100.3				
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	608,362	595,253	583,558	559,434	552,458	565,066	22年度予算執行率%		98.8		
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	1,566	64,539	60,780	44,065	40,169	51,806	特記事項				
	(内) 委託費	⑦	千円	535,107	511,896	502,345	483,328	476,995	492,258					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	33.67 43.29	30.00 45.92	30.70 40.82	28.50 45.92	30.10 44.55	25.60 49.66					
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	304,714	266,370	272,585	254,220	268,492	228,352				
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	121,212	128,255	114,010	135,464	131,423	146,497				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	1,034,288	989,878	970,153	949,118	952,373	939,915					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	1,936	1,647	1,630	1,504	1,518	1,464					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	11,107	10,846	10,975	11,223	11,544	11,693				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0				
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	11,107	10,846	10,975	11,223	11,544	11,693					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	1,023,181	979,032	959,178	937,895	940,829	928,222					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2						

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 437

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
				園地清掃委託	560,937
		樹木、排水、除草等管理委託	560,937	m ²	59,003
		遊具等公園施設補修工事	314	園	60,401
		流れ、排水設備、防災設備等保守点検委託	49	園	59,003
		その他 (その他の園地維持管理費)			189,100
	(2) 事業実績	平成21年度、民間事業化提案による委託を行いませんでしたが、事業者内部の連絡体制の不備がありました。他に公園便所清掃においても問題があったため、民間事業化提案事業は21年度で終了し、以前の契約形態に戻し、公衆便所の維持管理の枠組みに組み込み委託契約を行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区立公園は昭和49年に100園、昭和60年に200園を超え、平成22年度末に315園に増えました。そのうち約1/3は1970年代に開園しており、これらの公園では老朽化が進み、球戯場や木製遊具が劣化してきています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	公園利用者からはゴミの不法投棄、路上生活者による不正利用、犬の連れ込みなどの苦情が、近隣住民の方からは、樹木の剪定及び落ち葉の清掃についての苦情があります。また、公園の防犯性、快適性や高齢者の利用に関する要望が寄せられます。一方でみどりの保存やオープンスペースの確保のため公園の新設を希望する声もあります。
	今後の予測	公園施設の安全性確保、公園の快適さの向上に対する意識が高くなり、区民との協働と共に効率的管理運営が求められています。公園事務所の直営作業員の人員配置が困難となる見込みです。
	評価と課題	開園してから30年以上経過しながら、ほとんど手を加えられていない公園が80以上あり、老朽化が進むとともに安全性の低下が心配されます。一方、公園緑地事務所の職員体制が維持できないことから、日常の安全点検や要望に迅速に対応ができるための新たな体制づくりが求められています。また、一部の公園において指定管理制度の導入や、一括管理委託などを実施しながら公園維持管理方法の見直しを行いその評価していきます。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
	<p>・施設の老朽化が進む中、清掃、剪定、除草、園灯維持、排水保守などの日常維持管理業務の新たな委託形態や請負方法を構築し、効率的できめ細かな維持管理を行い利用しなくなる公園を目指します。また、公園巡回や点検、軽微な修繕などの日常の現場作業を確実に実施できる公園緑地事務所の維持管理体制の再構築を図り、公園の安全で安心を守っていきます。</p> <p>・都市整備部版GISの導入や公園台帳の整備を行い、区民に公園のみどころやどんな施設があるかなどの公園情報をHPなどで積極的に発信していきます。また、公園情報の共有化を進めさらなる仕事の効率化を目指します。</p> <p>さらに区民との協働を推進することで公園維持管理のレベルアップを図るとともに、地域コミュニティの場として公園利用の促進を図り、地域に親しまれる公園づくりを進めていきます。</p> <p>・大田黒公園での導入した結果を十分に検証し、今後の指定管理者の導入においてさらなる効率化を進めていきます。</p>		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公園事業		款	5	項	4	目	1	事業	2	整理番号	438
担当部課名		都市整備部みどり公園課		係名	公園利用係		連絡先電話番号		3587		昨年度整理番号	434	
上位施策No・施策名		13 公園づくり		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	12	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		公園利用者 公園ボランティア団体		根拠法令等		(1) 都市公園法 (2) 杉並区公園条例					
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○安全安心に利用できる公園が増え、苦情要望が減少します。 ○地域住民ボランティアによる公園管理が増えます。		活動指標名(式)		(1) 公園ボランティア団体数 (2) 夜間警備車両台数							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○公園利用調整:公園内の占用利用の調整や受付許可を行う。また、占有者へ一般利用者や近隣への安全対策などの調整打合せを行う。 ○公園利用指導:不適切な公園利用に対し、職員や夜間安全パトロールによる適正利用指導を行う。 ○公園ボランティア活動支援:公園内の管理活動に携わる団体に対して必要な資材などを提供し活動の支援を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
成果指標名(1)		(代) 占用申請利用件数		算定式・指標の説明等		成果指標名(2)		(代) 要望件数÷公園数		算定式・指標の説明等		児童遊園、遊び場含む	
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	① 団体	145	165	157	175	160	180	91.4				
	活動指標(2)	② 台	1,097	1,097	1,097	1,226	1,226	1,229	100.0				
	成果指標(1)	③ 件	618	700	673	700	709	700	101.3				
	成果指標(2)	④ 件	5	5	5	5	4	4	80.0				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	59,734	64,553	58,185	65,533	60,771	61,491	22年度予算執行率%		92.7		
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成23年3月31日公園数 区立公園 = 258 区立児童遊園 = 51 緑地 = 5 遊び場 = 15 計 = 329				
	(内)委託費	⑦ 千円	48,478	51,032	47,224	51,218	50,989	45,907					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	4.57 0.00	3.20 1.00	3.31 1.00	3.20 1.00	3.10 1.00	4.00 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	41,359	28,413	29,389	28,544	27,652			35,680		
		(内)非常勤職員分	⑩ 千円	0	2,793	2,793	2,950	2,950			0		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	101,093	95,759	90,367	97,027	91,373	97,171					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円	697,193	580,358	575,586	554,440	571,081	539,839					
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	1,373	946	1,358	1,128	1,588			1,622		
		国からの補助金等	⑭ 千円	2,000	2,000	2,000	0	0			0		
		都からの補助金等	⑮ 千円	0	0	0	0	0			0		
		その他の補助金等	⑯ 千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰ 千円	3,373	2,946	3,358	1,128	1,588	1,622					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱ 千円	97,720	92,813	87,009	95,899	89,785	95,549					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲ %	1.4	1.0	1.5	1.2	1.7	1.7						

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 438

22年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		安全パトロール経費	1,187	台	48,820
	花咲かせ隊経費(委託等)	120	団体	7,371	
	すぎなみ公園育て組経費(委託等)	40	団体	1,075	
	その他(学習室等イベント)			3,505	
	(2)事業実績	平成22年度「すぎなみ公園育て組」は、平成21年度末37団体から3団体増え40団体になりました。平成22年度「花咲かせ隊」は、平成21年度末120団体から6増6減し、団体数は120団体になりました。365日区立公園の夜間巡回パトロールを実施し、園内での迷惑利用に対して注意指導を行い、公園や周辺の安全安心を確保しています。			

協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3)協働等の形態 協働[事業協力]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度から始まった「花咲かせ隊」、16年度から始まった「すぎなみ公園育て組」ともに知名度が上がり団体数は増えています。今年度の「すぎなみ公園育て組」増加は、地域のグループとみどりのボランティアの参加がありました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	公園の夜間安全パトロールの実施により、夜間の迷惑行為に対し、具体的な対応策がとれるようになりました。このため夜間の苦情要望について、区民から一定の評価をいただいています。花咲かせ隊、すぎなみ公園育て組の活動についても、公園の手入れや、美しい花壇に感謝の言葉をいただいています。早朝や夜間における活動時間への問合せがあります。
	今後の予測	「花咲かせ隊」は、参加団体の増加が予想されますが、構成員の世代交代により継続的な作業が進まないことから、団体数の減少も考えられます。「すぎなみ公園育て組」は、参加団体の微増が考えられます。
	評価と課題	「花咲かせ隊」=120団体、「すぎなみ公園育て組」=40団体と着実に増え、活動を通じて植物とのふれあいや地域コミュニティの活性化に貢献しています。今後は維持管理を含め、更なる区との連携が望まれます。安全パトロールは、夜間定期的に巡回し迷惑利用に対する注意指導を行っています。また、火事などの事件の情報収集も行い、安全なまちを支えていく上では欠くことができなくなっています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
<p>○安全パトロールは、危機管理室を中心に365日終日区内を巡回し地域の安全を守っています。特にみどり公園課では、夜間の区立公園や公共施設などにおいて、不法行為や不適正利用などに指導啓発を行っています。また公園球戯場門扉の朝夕鍵の開け閉めの維持管理活動も行っており、今後も区民の様々な意見要望に対応し、公園と地域の安全安心を確保していくには必要な事業です。</p> <p>公園の安全パトロールにおける、区民一人あたり一日の経費は、48,820千円/365日/538,703人=0.25円です。</p> <p>○活動中のボランティア団体については、世代交代が進み、発足当初に比べ活動レベルの低下や団体数の減少が考えられます。今後は、各ボランティアの活動状況を把握し、区との役割分担を明確にし、社会貢献に重きをおく活動が楽しく継続的に続けられよう適切な支援を行います。ボランティア団体と良質な共助関係を保ち、楽しい公園環境を目指します。</p> <p>花咲かせ隊における、ボランティア一人あたり年間の経費は、7,371千円/980人=7,521円です。</p> <p>すぎなみ公園育て組における、ボランティア一人あたり年間の経費は、1,075千円/641人=1,677円です。</p>			

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		遊び場の維持管理		款	5	項	4	目	1	事業	3	整理番号	439
担当部課名		都市整備部みどり公園課		係名	公園整備係		連絡先電話番号	内3583		昨年度整理番号	435		
上位施策No・施策名		13 公園づくり		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	46	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 杉並区遊び場等の設置及び管理に関する要綱 (2) 先行取得用地の活用と管理について							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○区民が安全で快適に利用できる遊び場にします。		活動指標名(式)		(1) 遊び場管理面積 (2) 区民要望件数							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○公園の先行取得用地や、他の公共団体や地主の好意による提供用地を活用した遊び場の整備 ○施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の遊び場維持管理		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 区民意向調査の回答で公園・広場が「良い」「まあ良い」の割合 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	①	m ²	105,905	105,151	105,151	105,151	62,652	91,472		59.6		
	活動指標(2)	②	件	63	0	51	0	52	0				
	成果指標(1)	③	%	72.4	75.0	72.0	75.0	73.0	75.0		97.3		
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	46,664	37,591	34,339	39,358	37,235	29,186		22年度予算執行率% 94.6		
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0		特記事項		
	(内) 委託費	⑦	千円	44,143	34,608	32,267	36,827	35,219	27,130				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	4.80 0.00	3.70 0.00	3.75 0.00	3.90 0.00	3.45 0.14	3.40 0.14				
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	43,440	32,852	33,296	34,788	30,774	30,328			
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	413	413			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	90,104	70,443	67,635	74,146	68,422	59,927				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	851	670	643	705	1,092	655				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0			
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	90,104	70,443	67,635	74,146	68,422	59,927				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 439

22年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単位	事業費(千円)	
(1) 主な取組み	遊び場101番(桃井原っぱ広場)の清掃、除草、管理委託等	40,000	m ²		10,136
	遊び場102番(NHKグラウンド)の清掃、除草、管理委託等	50,188	m ²		14,695
	他の遊び場の樹木管理、除草等	12,464	m ²		4,185
	他の遊び場の清掃等	12,464	m ²		3,212
	その他(他の遊び場の維持補修ほか)				5,007
(2) 事業実績	平成21年度、民間事業化提案による委託を行いませんでしたが、事業者内部の連絡体制の不備がありました。他に公園便所清掃においても問題があったため、民間事業化提案事業は21年度で終了し、以前の契約形態に戻し、公衆便所の維持管理の枠組みに組み込み委託契約を行いました。遊び場101番ほか15箇所の遊び場の清掃、除草、管理委託等を行いませんでした。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	遊び場は、公共施設建設などのために先行取得した用地を一時、公園の補完施設として活用するために昭和40年代から始まりました。その後、民有借地等も遊び場とする場合も出てきましたが、開設が長期化しています。また、現存の遊び場は、本格整備が行われないまま老朽化が進んでいます。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	近くに子供が安心して遊べる場所があるのは好ましいと評価される一方、狭く小さな遊び場に対して近隣住民から騒音などの苦情が多くあります。また、身近な公園の設置状況が不足している地区や都市計画公園に指定されているものについては、遊び場からの都市公園とすることを求める声もあります。
	今後の予測	旧大蔵省印刷局グラウンドを遊び場102番として管理することになりました。都市計画高井戸公園として2箇所のグラウンドを遊び場として管理していますが、今後公園として整備するよう東京都に働きかけていきます。
評価と課題	NHKグラウンド、旧大蔵省印刷局グラウンド(遊び場102番)、の管理など都市計画公園事業が開始されるまでの間に暫定的にオープンスペースを地域に開放、利用することはオープンスペースの有効利用になっており、今後の公園整備事業を推進していくために大変役立っています。公園不足地域の補完的役割として遊び場は重要だが、公園立地上不適格な遊び場が残地してしまっています。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性 ○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善 ○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
	<p>【効率的な維持管理】 清掃、剪定、除草、園灯維持、排水保守等の委託や請負業務を一括で実施したり、地域ごとに実施するなど多様なかたちで、効率的できめ細かな維持管理を行い快適で Went くなる公園を目指します。</p> <p>【仕事の体制】 遊び場巡回や点検、軽微な修繕などの日常の現場作業を確実かつ迅速に実施できる事務所の維持管理体制を確保するために、土木事務所方式を研究、検証し新しい公園事務所体制を構築し、遊び場の安全安心を守っていきます。また、都市整備部版GISの導入と公園台帳の整備により、公園情報の共有化と仕事の効率化を進めます。</p>	

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		地域公園の整備		款	5	項	4	目	1	事業	4	整理番号	440						
担当部課名		都市整備部みどり公園課		係名	公園整備係		連絡先電話番号	内3583		昨年度整理番号	436								
上位施策No・施策名		13 公園づくり		予算事業区分								投資事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	17	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	2	施策番号	2	事業コード	8	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 都市公園法 (2) 独立行政法人都市再生機構法												
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○1ha以上の敷地を持つ地域公園の整備により、日常はみどりの豊かさを実感できるとともに、災害時には一時避難地となって区民が安心・安全に暮らせるようになります。			活動指標名(式)		(1) 当該年度公園用地累積取得面積 (2)												
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○(仮称)桃井中央公園の整備 ○平成17年度に基本計画、基本設計を作成 ○平成18年度から22年度まで用地の取得 ○平成20年度に実施設計と植栽工事を実施 ○平成21年度に造成工事(1期)を実施 ○平成22年度に2期整備工事 ○平成23年4月1日に開園			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)区立の防災公園数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等												
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績										
指標	活動指標(1)	①	m ²	24,000	32,000	32,000	40,000	40,000	0	100.0									
	活動指標(2)	②																	
	成果指標(1)	③	園	4	4	4	5	5	5	100.0									
	成果指標(2)	④																	
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	1,450,764	1,538,113	1,506,563	1,794,969	1,574,469	0	22年度予算執行率% 87.7									
	(内)投資的経費等	⑥	千円	1,450,764	1,538,113	1,506,563	1,794,969	1,574,469	0	特記事項									
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.82 0.00	0.80 0.00	0.82 0.00	0.80 0.00	0.82 0.00	0.60										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	7,421	7,103	7,281	7,136	7,314	5,352									
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0									
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	1,458,185	1,545,216	1,513,844	1,802,105	1,581,783	5,352										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	309	222	228	178	183											
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0									
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0									
都からの補助金等		⑮	千円	372,151	431,095	417,010	454,214	561,063	0										
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0										
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	372,151	431,095	417,010	454,214	561,063	0										
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	1,086,034	1,114,121	1,096,834	1,347,891	1,020,720	5,352										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

(仮称)桃井中央公園の整備事業が完了し、負担金の支払いが終わったことから平成23年度の事業費は0となります。なお、都市機構立替分を平成28年度から15年間で支払うことになっています。

国庫補助金が増額されたため杉並区負担金が減額となったことから予算執行率は87.7%となりました。

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 440

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		桃井原っぱ公園整備負担金	40,000	m ²	1,571,741
		その他 (初度調弁 ほか)			2,728
	(2) 事業実績	UR(都市再生機構)施工による桃井原っぱ公園の造成工事及び建築工事を実施し、完成引継ぎ後平成23年4月1日供用開始しました。			

協働等点検	(1) 協働等の実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区7地域のうち、6つの地域に8箇所の地域公園が整備されました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	(仮称)桃井中央公園の整備は、平成18年に基本設計を作成しましたが、より防災機能を重視した、シンプルな公園を望む声が地元からありました。一部を暫定開放したことから、より広い範囲の開放と早期開園を望む声が寄せられました。
	今後の予測	現在予定されている地域公園候補はないが、今後は企業グラウンドや社宅の処分や小中学校の統廃合による学校用地、公共施設の再配置による比較的大きな土地が公園用地候補となる可能性がある。震災後は防災意識の高まりから、オープンスペースの確保がもためられている。
	評価と課題	これまで区内6地域に8箇所の地域公園(238,088.62m ²)を整備しましたが、方南和泉地域には地域公園がない状況です。地域公園はまちにとって防災活動やみどりの拠点となることから、地域特性に応じた適正な場所、規模、機能などの配置構想を策定しながら、身近な公園づくりと併せて住宅公園都市としての骨格づくりを担っていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
	<p>○地域公園は地域の特性を十分考慮し、機能分担を図りながらバランスよく配置することで区内全体の防災性が向上し、みどりの骨格づくりとなります。</p> <p>・機能分担は防災、水とみどり、スポーツとレクリエーション、コミュニティなどをキーワードとして、既設の公園と将来必要となる公園の配置計画を策定いたします。</p> <p>・みどりの拠点となる屋敷林や企業グラウンド、また防災の拠点となる企業の社宅や公共施設の統廃合や再配置等により空地となる可能性のある、まとまりある土地を公園候補地として常にリストアップし、公園用地取得に積極的な対応を図ります。</p> <p>○都市計画高井戸公園の整備を促進し、貴重なオープンスペースの確保とスポーツ・レクリエーションの場を創出します。</p>		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 441

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		(仮称)高円寺北一丁目公園整備工事	3609	m ²	21,000
	(仮称)和田一丁目公園の設計	2130	m ²	5,040	
	Aさんの庭造成工事	829	m ²	44,465	
	その他 (久我山中央緑地用地測量)			1,334	
(2) 事業実績	(仮称)高円寺北一丁目公園整備工事に着手しました。 Aさんの庭造成工事を実施し供用開始しました。 (仮称)和田一丁目公園の実設計を行ないました。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化 地価の高騰により、用地取得に多大な経費がかかるようになっていきます。みどりを残すために公園として整備して欲しいという機運が高まっています。
事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	空き地や駐車場、貴重なみどりが残る民有地等を公園として整備してほしいという要望があります。取得した公園用地を早く公園にして欲しいという要望があります。
今後の予測	震災の経験から防災意識の向上、オープンスペースの重要性の認識などから公園の必要性が高まる。一人当たり公園面積5m ² の公園の確保が望まれる。
評価と課題	区民一人当たり公園面積は1.76m ² (平成14年4月)から10年間で1.98m ² (平成23年4月)へ着実に増加していますが、23区中では19番目(平成22年4月)となっており、10年間変わっていません。今後も公園を増やし利便性の向上とオープンスペースの確保が必要です。また、地域特性に合った公園を配置していくための計画づくりが必要です。少子高齢化などの変化に対応した公園の整備が求められています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
既存公園の整備状況に基づき、今後重点的に公園を整備すべき地域などを明らかにした公園配置構想を策定し、用地取得を計画的に進めていきます。 区立公園配置構想づくりに向け、公園の特長を分類し地域特性に合わせて公園をバランスよく配置し、民間のみどりと合わせ区内全体がみどりでつながった住宅公園都市づくりを目指していきます。 また、配置構想をもとに公園の再生への取組みも併せて実施していきます。 【公園の特長を分類】(キーワード) 地域公園(防災拠点・みどりの骨格)……井草森公園、桃井原っぱ公園など まとまりのあるみどり(景観・武蔵野の森)……松浜公園、清水森公園、成田西切通し緑地など 子どもの遊び場(子ども・遊び)……阿佐谷南公園、松ノ木中央公園、小鳩公園など まちかど広場(まちかど・休息)……高円寺谷中緑地、井草三丁目緑地など 憩いとふれあいと集い(憩い・集い)……高円寺中央公園、天沼弁天池公園など つながりあるみどり(川・道)……弁天橋東緑地、和泉二丁目公園、桃園川緑道など			

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 442

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				梅里公園球戯場改修工事	1
		特色ある公園づくり	1	式	5,670
		南荻窪中央公園拡張用地取得	103	m ²	51,619
		南荻窪中央公園設計	1	式	1,155
		その他 (事務費ほか)			127
	(2) 事業実績	老朽化とボールの飛び出しを防止するため、梅里公園の球戯場を改修しました。都市再生整備計画「南荻窪地区」内の南荻窪中央公園の隣地を取得し、拡張用地を含む公園全体を与謝野晶子・鉄幹氏ゆかりの公園に改修するための設計を行ないました。特色ある公園の花と木のコースを整備しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(3)へ	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	現在300を越える区立公園のうち、約1/3が1970年代に開園しており、球戯場や木製遊具などが老朽化してきています。公園周辺の宅地化が進み、球戯場などの騒音対策などの必要性が高まっています。少子高齢化により、公園利用者の対象がこどもからお年よりまで幅広くなっています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	高齢者が利用できる遊具や施設を望む声が増えてきています。既存の球戯場については、騒音やボールの飛び出しへの苦情が寄せられます。一方で新設の要望もあります。花木の植栽などで特色づけした公園が好評で、花の時期には多くの問い合わせがあります。
	今後の予測	開園してから30年間手を加えられていない公園が全体の4分の1もあり、公園の老朽化と安全性の低下が懸念されます。少子高齢化の中で公園ニーズと利用者層の多様化がいつそう進みます公共施設の安全性向上への責任がさらに重くなっていきます。
	評価と課題	少子高齢化にともない公園に対するニーズが多様化していますが、高齢者が利用できる施設がないなどの要望に応えられていません。また、寿命がきている遊具や新しくなった遊具の安全基準に適合していない遊具が多くあるなど、利用者の安全が確保できていないことが課題となっています。60万m ² ある公園資源をもっと有効活用していくために、既設の公園の再生が求められています。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	現在ある公園の再生と有効活用を図るため、公園遊具の改修やバリアフリー対策といった施設改修を計画的に進めて、区民の公園ニーズの変化に迅速に対応していきます。 また、機能ごとに改修する公園に優先順位をつけることで、発生した問題箇所への適格な対応が可能となります。 【公園機能の分類】 ・雨水流出対策＝園路・広場・排水設備の改良 ・バリアフリー対策＝園路・入口・水飲みの改修、スロープ・誘導ブロックの設置、だれでもトイレの設置 ・遊具の安全安心対策＝安全基準対応 木製遊具・健康遊具・コンクリート遊具の改修 ・新しいニーズ＝高齢者を対象とした施設の導入・照明の省エネ化・見やすいサイン・区民との協働 ・快適な空間＝ベンチ		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 447

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		地域別ブロック方式清掃委託	17	所	10,452
公衆便所の光熱水費	17	所	3,034		
公衆便所の維持補修	17	所	3,374		
環境自然					
その他 (管理運営費、樹木管理)			375		
(2) 事業実績	平成21年度、17箇所中7箇所(前年度5箇所)において民間事業化提案による委託を行ないました。荻窪駅南口公衆便所において、小便器の故障が1ヶ月以上にわたり放置され使用不能状態となるなど、事業者内部の連絡体制の不備がありました。他に公園便所清掃においても問題があったため、民間事業化提案事業は21年度で終了し、以前の契約形態に戻し、公園清掃の枠組みに組み込み委託契約を行いました。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	公衆便所箇所 昭和49年～現在 17箇所 公園便所箇所 昭和56年 126箇所 昭和60年 142箇所 平成元年 164箇所 平成5年 183箇所 平成12年 201箇所 平成19年 204箇所
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	「トイレが常に清潔で使いやすい状態であること」といった日常管理に関する要望が多い。また、高齢者、障害者など、身体機能に支障がある人を含め誰もが使いやすく安全な施設であることを望む声もあります。
	今後の予測	施設の老朽化、経年劣化の中で、清潔で利用しやすい公衆便所を維持することは年々困難となってきています。超高齢化社会に対応した「だれでもトイレ」の適正な配置の必要性が高まり、要望も増加します。
評価と課題		施設が経年劣化していく中で、清潔で利用しやすい公衆便所にしていくには清掃だけでは限界があり、限られた予算の中で区民サービスの向上を図ることは難しい状況にあります。今後は利用者の協力を得るための方策や新たな契約形態を検討する必要があります。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	● 拡 充 ○ 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
<p>・今後、経年劣化をしていく中で、清潔で利用しやすく、時代にあった施設にしていくために、新バリアフリー法に沿った「だれでもトイレ」の導入を部分改修などで工夫していくことを含め、だれもがどこでも利用できるような公園便所や公衆便所の配置を計画化していきます。</p> <p>・今後は、20・21年度に民間事業化提案事業で実施した通常清掃以外の巡回による清掃や特別清掃など効果があった取り組みの導入を検討していきます。</p> <p>また、いつも清潔で利用しやすい施設となるように区民・事業者と連結して取り組むとともに、区の力だけでは限界があり、利用者の協力が必要不可欠です。受益者負担など新たな仕組みづくりを検討していきます。</p>			

特記事項	平成23年度、荻窪南口通り公衆便所の改修を行ないます。(予算額:18,312千円)
------	---

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公園緑地事務所等の管理運営		款	5	項	4	目	4	事業	1	整理番号	448	
担当部課名		都市整備部みどり公園課		係名	管理係		連絡先電話番号	3572		昨年度整理番号	400			
上位施策No・施策名		13 公園づくり		予算事業区分								既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	47	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	公園緑地事務所(2所)、公園管理事務所(8所)							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公園緑地事務所及び公園管理事務所の管理運営を行い、公園維持管理ほか他事業の事業執行を円滑にする。							根拠法令等	(1) 都市公園法、杉並区公園条例、同条例施行規則 (2) 杉並区公園緑地事務所処務規程				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○公園緑地事務所及び公園管理事務所の施設・設備維持、事業所における業務運営を補佐する。							活動指標名(式)	(1) 対象事務所数 (2) 対象管理面積				
成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標												
成果指標名(1)		区民意向調査の回答で公園・広場が「良い」「まあ良い」の割合												
算定式・指標の説明等														
成果指標名(2)														
算定式・指標の説明等														
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	① 園	9	10	10	10	10	10	10	100.0				
	活動指標(2)	② m ²	6,051	6,306	6,306	6,306	6,306	6,306	6,306	100.0				
	成果指標(1)	③ %	72.4	75.0	72.0	75.0	75.2	80.0	100.3					
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	39,297	60,931	55,008	51,879	44,526	102,831	22年度予算執行率% 85.8					
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ・光熱水費が、計画より少なかったため予算執行率が90%を切りました。 (予算額:16,304千円、決算額:11,364千円) ・23年度より、太田黒公園が指定管理者制度を導入したため、太田黒公園の受益者負担分が減となります。					
	(内)委託費	⑦ 千円	20,307	31,534	29,421	28,755	27,161	80,129						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	1.40 6.42	1.40 6.40	1.40 6.42	1.40 6.40	1.61 7.57	1.80 7.39						
	人件費	⑨ 千円	12,670	12,431	12,431	12,488	14,361	16,056						
	(内)非常勤職員分	⑩ 千円	17,976	17,875	17,931	18,880	22,332	21,801						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	69,943	91,237	85,370	83,247	81,219	140,688						
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円	7,771,444	9,123,700	8,537,000	8,324,700	8,121,900	14,068,800						
	受益者負担分	⑬ 千円	1,386	2,588	3,358	2,562	2,326	1,581						
	国からの補助金等	⑭ 千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等	⑮ 千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等	⑯ 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰ 千円	1,386	2,588	3,358	2,562	2,326	1,581							
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱ 千円	68,557	88,649	82,012	80,685	78,893	139,107							
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳ %	2.0	2.8	3.9	3.1	2.9	1.1							

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 448

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				光熱水費	9
		事務所保守管理(手数料)	9	所	10,515
		角川庭園・幻戯山房の管理運営	1	所	8,449
		事務所保守管理(委託等)	9	所	8,370
		その他(一般需用費、通信運搬費、賃借料、謝礼金)			6,161
	(2) 事業実績	大田黒公園について、23年度から指定管理者制度を導入するためプロポーザルを実施し、指定管理者を選定しました。 また、桃井原っぱ公園についても、管理業務を業者に委託するためプロポーザルを実施し、業者を決定しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手	
	十分に実現している	企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方	
	委託 [業務量の50%以上に相当]	実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区立公園の数・総面積 S47年度 46園 160,449.21㎡ H22年度 315園 600,937.20㎡ (S47年は最初の公園管理事務所である児童交通公園の開園年) 平成22年度数値は、平成23年4月1日開園の桃井原っぱ公園を加えた数値です。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区民から出される意見要望は、公園利用、公園施設利用、公園の管理状態(清掃等含む)に関するものが大半です。7つの公園で毎月利用者アンケートを取っていますが、概ね評価は良好です。
	今後の予測	今後は、施設維持のみにとらわれず公園の形態にあった管理運営は求められていくと考えます。
評価と課題		安心して利用できるよう大規模公園などには管理事務所を設置し、区民から良好な評価を受けてきました。 22年度、プロポーザルを実施し、23年度から運営管理を、桃井原っぱ公園は業務委託、太田黒公園は指定管理者を導入しました。 これらの新しい維持運営方法について効率性、区民サービスの向上など評価・検証を行ない、今後の公園管理事務所の維持運営のあり方を検討し、区民に親しまれる公園づくりに取り組んでいきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
	業務委託契約は3年間の長期契約、指定管理は3年間の基本協定を結んでいるため、毎年度の履行評価を行なうことはもとより、3年間を通しての履行評価を実施していきます。これらの評価及び段階的定年制の延長をにらみながら、再任用・再雇用職員による6箇所の管理事務所の運営形態のあり方を見直していきます。 また、南北公園緑地事務所では、現在、直営職員による公園管理事務所の小修繕などを行っています。しかし、今後退職不補充により直営職員が減っていくのでそれに変わる委託化を推進し、区民の利便性や安全性の確保に支障が発生しないように、維持運営方法の見直しを行なっていきます。		

特記事項	
------	--